

2008年12月2日

mail ニュース

16・通巻204号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史

TEL 03-5381-0250

都議会開会日行動を行う

都議会第4回定例会が開会した12月2日、定例となった開会日行動を行いました。朝8時から、「革新都政をつくる会」として、都庁門前早朝宣伝を実施しました。配布したビラは、表面に石原都政の三つの巨悪について書かれています。一つは破綻した新銀行東京のあらたな展開として、自民・公明・民主の議員、さらには知事の特別秘書が口利きを行っている事実がマスコミで報道されたことです。また、元行員が不正融資により逮捕されるなど、新銀行東京をめぐる事件は後を絶ちません。日本経済新聞も「銀行ごっこやめよう」と指摘するなど、事態は深刻です。

二つ目は、築地市場の豊洲移転問題です。この問題では、築地市場跡地をメディアセンターにするという策動について石原都政が断念するという新たな成果を勝ち取ることができました。引き続き、都民の職と安全を守るためにも豊洲移転撤回に向けて運動を進めましょう。

三つ目がオリンピック招致問題です。招致のために毎年1000億円もの基金を積み立てるなど、大変な無駄使いを行っているのです。

裏面では、都民生活のためのための施策を充実させることを訴えています。世界的な金融・経済危機の下で、都民のくらしと営業が悪化しています。東京都がこうした苦しみの根元にメスを入れ、手だてを尽くすのかがどうか問われています。都税収入はこの8年間に1兆3000億円も増え、財政的には十分可能です。後は知事が決断するだけ。都民を救うのか、破綻した新銀行を救済するのか、オリンピックは最優先課題なのか、ちょっと考えれば誰にでもわかることではないでしょうか。

昼休みには都民連として都庁前で集会を開催しました。東京地評の久保さんが司会を務め、伊藤議長が主催者を代表して挨拶しました。続いて地評の永瀬さんが生計費調査結果を基にして貧困と格差問題について、「墨東病院を直営で存続させる会」の安田さんが周産期医療問題について、東商連の増村さんが営業問題について、それぞれ報告と訴えを行いました。

その後、議会で奮闘している日本共産党から曾根幹事長が報告を行いました。

最後に首都圏青年ユニオンの松崎さんの音頭でシュプレヒコールを行い、集会は終了しました。